



見せましょう 黒崎中の底力を！

9月20日から、体育会の全体練習が始まりました。選手決めから始まり、競技や演技（ダンス）の練習でグラウンドに集まり、回数を重ねてきました。（ダンスは夏休みから始動！）

黒崎中は、生徒主体の体育会です。少ない人数で大会運営を行うため、3年生は複数の役割を分担しながら、1・2年生引っ張ってきました。しかし、最初からうまく事が運ぶことはありませんでした。全員の前で話をすることが初めてで、競技の説明が十分伝わらなかったり、指示をしっかりと聞けなくて叱られた1・2年生だったり。「気持ちを一つに」とか「体育会を楽しむ」といった言葉が空回りした時期もありました。その度に3年生は仲間と指示の仕方を話し合ったり、先生に相談したりしました。

全校の意識が少しずつ変わり始めたのは9月も最後の週です。朝礼台に人が立つと同時に体を向き直し、指示に対して「はい」の返事が大きくなりました。競技の入退場の時、ホイッスルのリズムに合うようになりました。競技の練習に対し私語が消え、どうやったら成功するかチームの中で話が進みました。そして、演技（ダンス）の動きが格段に良くなってきました。何がきっかけだったのだろうかと考えましたが、一人ひとりの気持ちが体育会を成功させるために動いていたことに間違いはないと確信しました。

10月5日の体育会予行では、競技そして演技と十分なパフォーマンスを見せ、役割を果たせていました。迎えた7日は朝からの雨。みなさんの力を発揮する予定でしたが、11日（火）に順延となりました。

「恵みの雨」ととらえ、今日の体育会の無事成功を期待して、冒頭の言葉を贈ります。

